



亀中だより

No.39 令和8年3月10日 文責 岡田

For The Students!

3月6日、一步一步と春へと時が進むことを感じる中で、第79回亀山市立亀山中学校卒業証書授与式を無事に挙行することができました。三年という月日のなせるわざか、それとも中学生という年代だからこそできることなのか、卒業生211名の見せた晴れ姿は一樣に凛々しく、その場に居合わせたすべての人に感動を与えるものでした。別れがたくもありますが、みなさんの今後のご活躍をお祈りいたします。

巣立ちゆく211名… 令和7年度卒業証書授与式



3年生のみなさんが入学してまもない5月、新型コロナウイルス感染症は第5類へと移行し、以来学校は3年生の成長とともにニューノーマルな形で動いてきました。一人一台端末の導入など学び方も大きく変化する中で、授業はもちろん学校行事、部活動などあらゆる活動から制限が取り払われ、“かつての当たり前”と“新たな挑戦”が融合した形で、学校運営がスタートしました。そしてその中心にいたのが、3年生のみなさんでした。この三年間の経験が、これから始まるみなさんの未来において、“幸せになれる人”へと近づく礎になればと期待しています。みなさんの人生に幸あれ!亀山中学校はこれからも皆さんを応援しています。

111 山中明歩さんの答辞より(抜粋)

いつもそばにいてくれた家族へ…

これまで当たり前のように感じていたけれど、それは決して当たり前ではなかったと改めて気づきました。朝早くから作ってくれたお弁当、疲れて帰った日の「おかえり」のひとつ、試合の日に見守ってくれていた姿。その優しさにとれほど救われていたでしょう。うまくいかないことがあると、八つ当たりして傷つけてしまった日もありました。素直になれず、感謝の言葉を伝えられなかったこともありました。それでも家族は何も言わずに私たちを信じ、支え続けてくれました。どんな時も味方で、愛情を注いでくれたからこそ、私たちはくじけそうになっても何度も立ち上がることができました。本日こうして胸を張って卒業の日を迎えられたのは間違いなく家族の支えがあったからです。これまで15年間、私たちを大切に育ててくれて本当にありがとうございました。まだまだ未熟な私たちは、家族の支えなしでは生きていくことはできません。しかし、これからは少しでも恩返しができるよう、自分の選んだ道を精一杯歩いていきます。大切で、大好きな家族のみんな、これからもよろしくお願いします。

最後に三年生の仲間へ…

出会って1,065日後の今日、私たちはこの学び舎を旅立ちます。まだこの仲間と一緒にいたい、笑いあっていたい。そんな気持ちがあふれています。新しい環境に不安がないといえば嘘になります。しかし、1,065日入学式当日と同様、四月からは希望に満ちた毎日が待っています。うれしいこともつらいことも互いに分かち合ってきた211名の特別な仲間。この三年間で学んだ努力する心、思いやりの心、そして挑戦する勇気を胸に、目の前の扉を開き、それぞれの道を歩いていきましょう。本当にありがとう。

